Form No. 3406-576 Rev B

48、52 および 60 インチ Recycler® キット

TITAN® HD 1500、2000 および 2500 シリーズ乗用モア用

モデル番号126-8701

モデル番号126-8702

モデル番号126-8703

モデル番号133-2166

モデル番号133-2167

モデル番号133-2168

取り付け要領

⚠ 警告

カリフォルニア州
第65号決議による警告
米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる化学物質が含まれているとされております。

安全について

側方排出モードやマルチングモードでの使用について

⚠ 警告

デフレクタや、排出カバー、または集草アセンブリを確実に取り付けずに使用すると、人がブレードに触れたり、ブレードに跳ね飛ばされたものが人に当たったりするなどして極めて危険である。回転中のブレードに触れたり、跳ね飛ばされた物に当たると、けがをするばかりでなく場合によっては死亡する。

- **デフレクタは排出方向を下向きにする重要な部材であるから、絶対に取り外したままで刈り込みを行ってはならない。デフレクタが破損している場合には直ちに交換すること。**
- **刈り込みデッキの下には絶対に手足を差し入れないこと。**
- **刈り込みデッキの排出部や刈り込みブレードの近くを清掃する時には必ずPTOを解除OFFし、エンジンのキーを抜き取る。また、キーを抜き取ったら、点火プラグの高圧コードも外しておく。**

© 2016—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は www.Toro.com.

CE

この文書は翻訳です。 (JA)
Printed in the USA
禁無断転載
3406-576 B

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	–	マシンの準備を行います。
2	必要なパーツはありません。	–	既存のブレードを取り外します。
3	必要なパーツはありません。	–	デッキについているバッフルを取り外します。
4	排出プレート キャリッジボルト5/16 x 7/8 インチ フランジナット5/16 インチ フランジナット3/8インチ キャリッジボルト3/8 x 1インチ	1 1 1 2 2	排出プレートを取り付けます。
5	左バッフル 中央バッフル 右バッフル フランジナット3/8 インチ キャリッジボルト3/8 x 1インチ	1 1 1 9 9	バッフルを取り付けます48インチと52インチのデッキの場合。
6	左バッフル 中央バッフル 右バッフル フランジナット3/8 インチ キャリッジボルト3/8 x 1 インチ	1 1 1 9 9	バッフルを取り付けます60インチのデッキの場合。
7	リサイクラブレード	3	新しいブレードを取り付けます。
8	必要なパーツはありません。	–	各ボルト類を締め付ける。

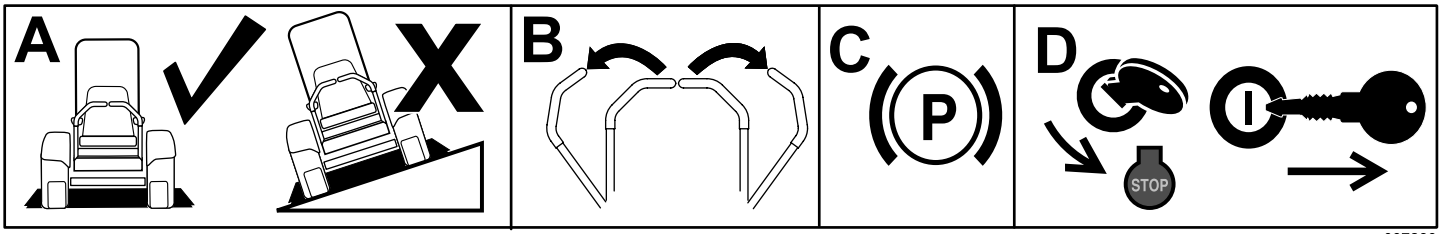
1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. 走行コントロールレバーをニュートラル固定位置以外の位置に動かす。
3. 駐車ブレーキを掛け、
4. エンジンを止め、キーを抜き取る。
5. 刈り込みデッキを十分に洗浄する。バッフルが適正に装着できるように、ごみを十分に落とす。
6. 刈り込みデッキに曲がりや凹みが発生している場合には、これらをすべて修復し、欠損しているパーツはすべて取り付ける。



g037289

g037289

図 1

2

既存のブレードを取り外す

必要なパーツはありません。

手順

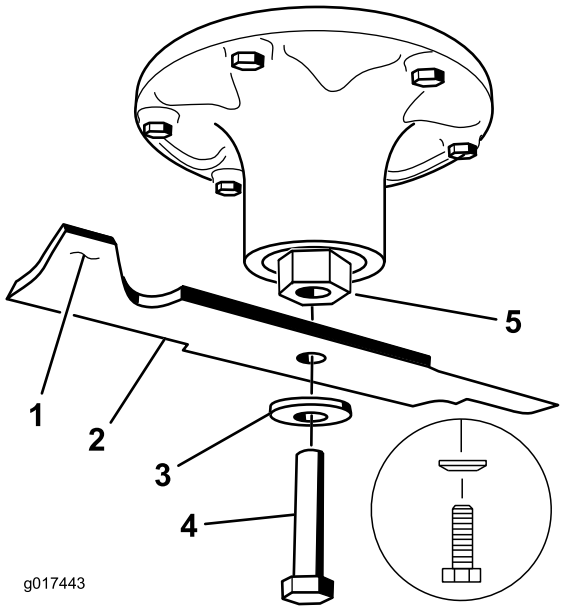
1. スパナ1-1/2 インチをスピンドルシャフトの六角形の端部に当ててスピンドルシャフトを押える。
2. スピンドルのシャフトからブレードボルト、湾曲ワッシャ、ブレードを取り外す図 2。

   注 外したブレードは再び側方排出モードで使用するときのために保管してください。外したボルトとワッシャは、リサイクラ用のブレードの取り付けに使用します。

⚠ 警告

刈り込みブレードは非常に鋭利であり、刃先に触れると大けがをする。

ブレードを取り扱うときは丈夫な手袋をするか、刃先部分厚い布などでしっかりと覆うこと。



g017443

図 2

1. ブレードの立ち上がりセール部
2. ブレード
3. 湾曲ワッシャ
4. ブレードボルト
5. スピンドルシャフト六角形の端部

3

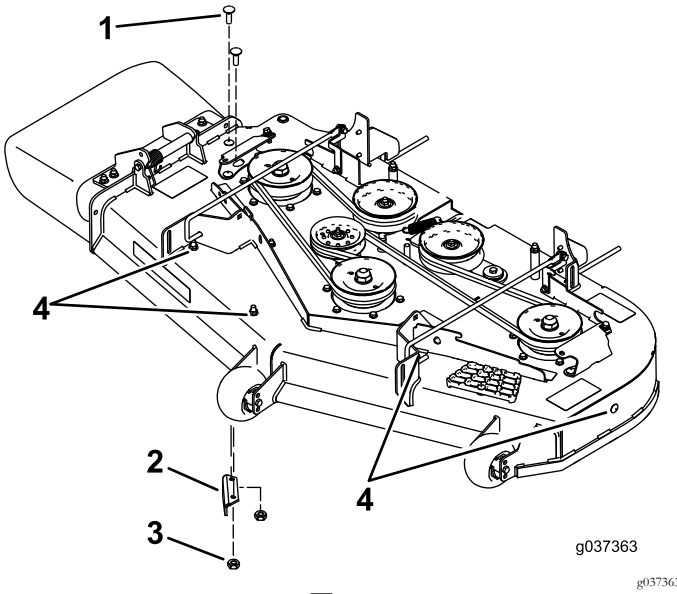
デッキについているバッフルを取り外す

必要なパーツはありません。

手順

1. バッフルを固定しているフランジナットとボルトを外す図 3。
2. バッフルを固定しているボルトを外す図 3。
3. バッフルを外し、バッフル用の穴についているボルトとナットを交換する図 3。
4. 図 3に示す金具類を取り外す。外した金具類は捨てないでください。

注 今後、側方排出方式に戻す場合のために、すべて保管してください。



g037363

図 3

1. ボルト
2. バッフル
3. ナット
4. バッフルを取り付ける前に金具類を外す

4

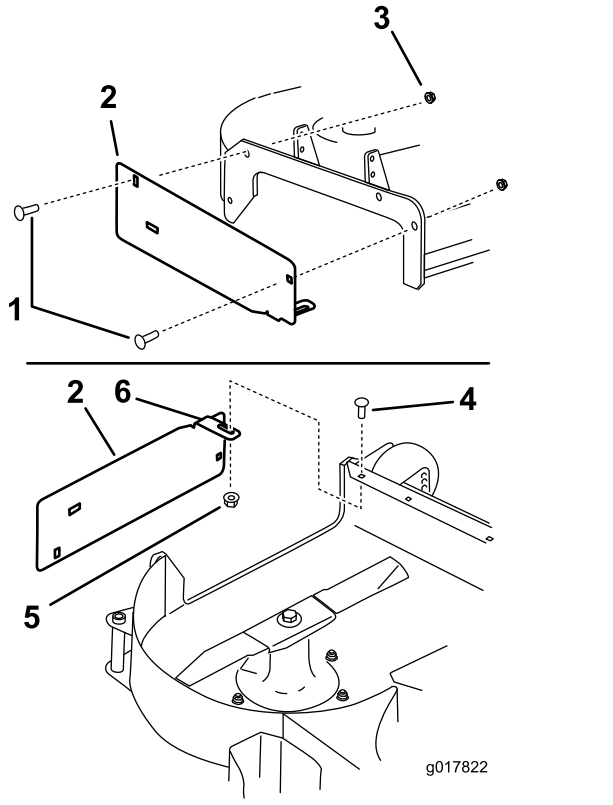
排出プレートを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	排出プレート
1	キャリッジボルト5/16 x 7/8 インチ
1	フランジナット5/16 インチ
2	フランジナット3/8インチ
2	キャリッジボルト3/8 x 1インチ

手順

1. 取り付けブラケットの外側に、排出プレートを取り付けるキャリッジボルト3/8 x 1-1/4 インチ2本、フランジナット3/8 インチ小さいフランジ2個を使用して図 4のように取り付ける。
2. デッキの内側にタブを取り付けるキャリッジボルト5/16 x 7/8 インチ1本とフランジナット5/16 インチ1個を使って図 4のように取り付ける。



g017822

図 4

1. キャリッジボルト3/8 x 1インチ
2. 排出プレート
3. フランジナット3/8 インチ
4. キャリッジボルト5/16 x 7/8 インチ
5. フランジナット5/16インチ
6. タブがデッキの内側にくるように取り付ける

5

バッフルを取り付ける48インチと52インチのデッキの場合

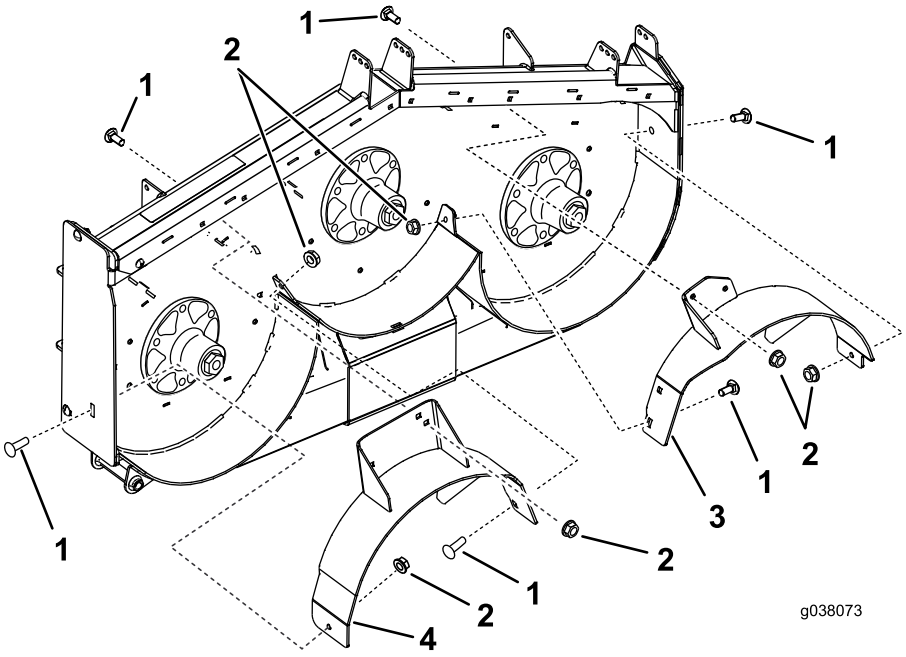
この作業に必要なパーツ

1	左バッフル
1	中央バッフル
1	右バッフル
9	フランジナット3/8 インチ
9	キャリッジボルト3/8 x 1インチ

手順

注 デッキについている穴を使って、それぞれのバッフルをデッキに仮止めする図 5。

1. 右バッフルをデッキに合わせる。
2. 排出プレートに右バッフルを仮止めするキャリッジボルト3/8 x 1 インチ1本とフランジナット3/8 インチ1個を使用して図 5のように取り付ける。
3. デッキ上部に右バッフルを仮止めするキャリッジボルト3/8 x 1 インチ1本とフランジナット3/8 インチ1個を使用して図 5のように取り付ける。取り付け穴の選択については 図 6 および 図 7 を参照。
4. デッキに右バッフルを仮止めするキャリッジボルト3/8 x 1 インチ1本とフランジナット3/8 インチ1個を使用して図 5のように取り付ける。
5. 左バッフルをデッキに合わせる。
6. デッキ上部に左バッフルを仮止めするキャリッジボルト3/8 x 1 インチ1本とフランジナット3/8 インチ1個を使用して図 5のように取り付ける。取り付け穴の選択については 図 6 および 図 7 を参照。
7. デッキに左バッフルを仮止めするキャリッジボルト3/8 x 1 インチ1本とフランジナット3/8 インチ1個を使用して図 5のように取り付ける。
8. デッキ側部に左バッフルを仮止めするキャリッジボルト3/8 x 1 インチ1本とフランジナット3/8 インチ1個を使用して図 5のように取り付ける。



g038073

図 5
図は52インチデッキ

1. キャリッジボルト3/8 x 1 インチ
2. フランジナット3/8 インチ
3. 左バッフル
4. 右バッフル

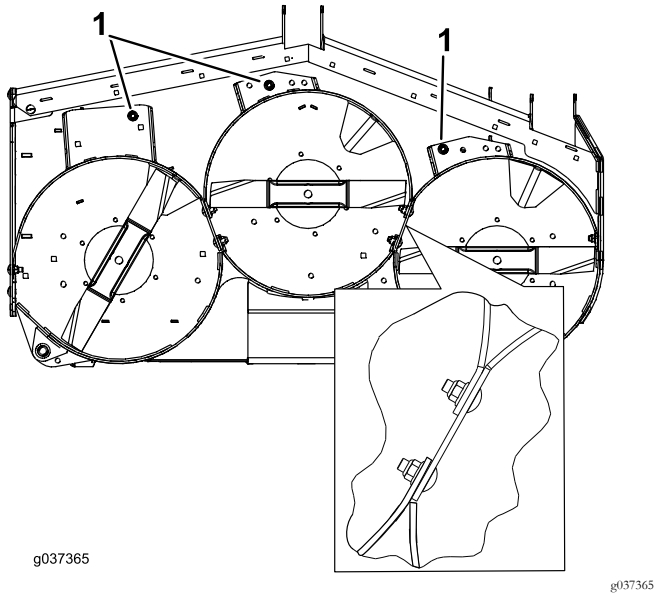


図 6
図は48インチデッキ

1. 48インチのデッキにはこの穴を使用

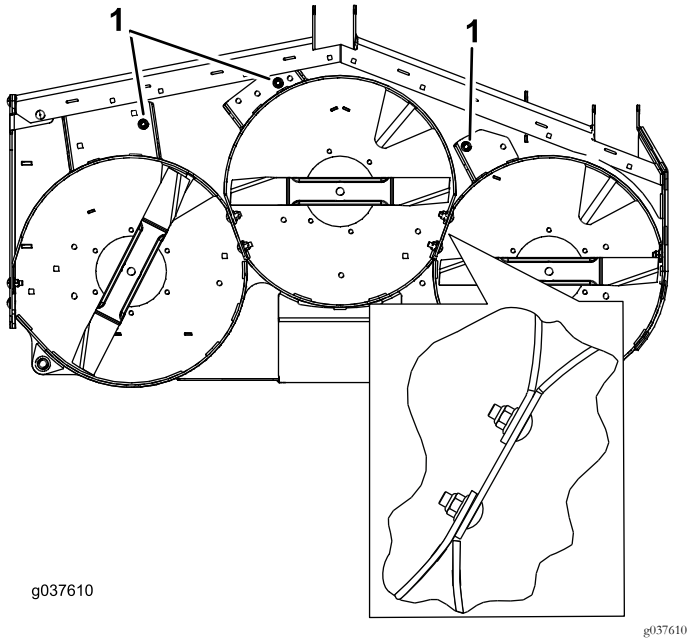
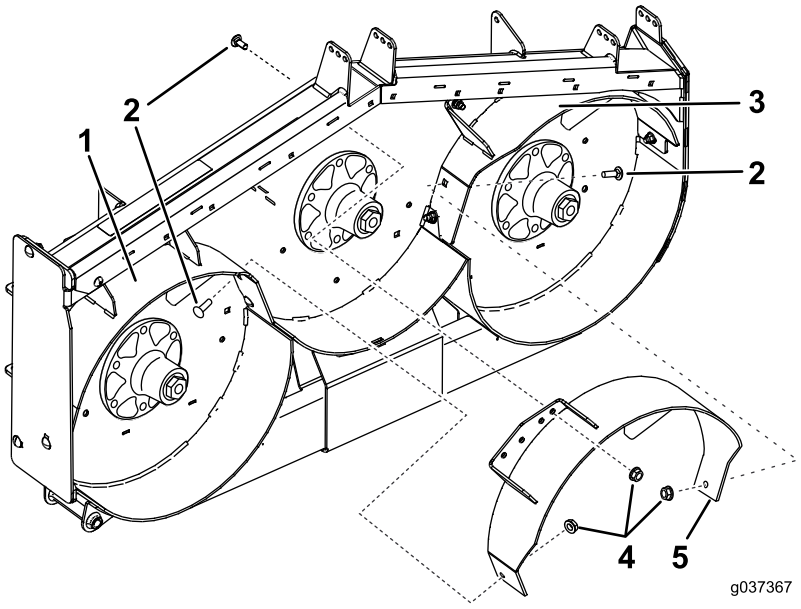


図 7
図は52インチデッキ

1. 52インチのデッキにはこの穴を使用

9. 中央バッフルをデッキに合わせる。
10. 中央バッフルを左バッフルに仮止めするキャリッジボルト3/8 x 1 インチ1本とフランジナット3/8 インチ1個を使用して図 8のように取り付ける。取り付け穴の選択については 図 6 および 図 7 を参照。
11. 中央バッフルを右バッフルに仮止めするキャリッジボルト3/8 x 1 インチ1本とフランジナット3/8 インチ1個を使用して図 8のように取り付ける。
12. 中央バッフルをデッキ上部に仮止めするキャリッジボルト3/8 x 1 インチ1本とフランジナット3/8 インチ1個を使用して図 8のように取り付ける。取り付け穴の選択については 図 6 および 図 7 を参照。



g037367

図 8

1. 右バッフル
2. キャリッジボルト3/8 x 1 インチ
3. 左バッフル
4. フランジナット3/8 インチ
5. 中央バッフル

6

バッフルを取り付ける60インチのデッキの場合

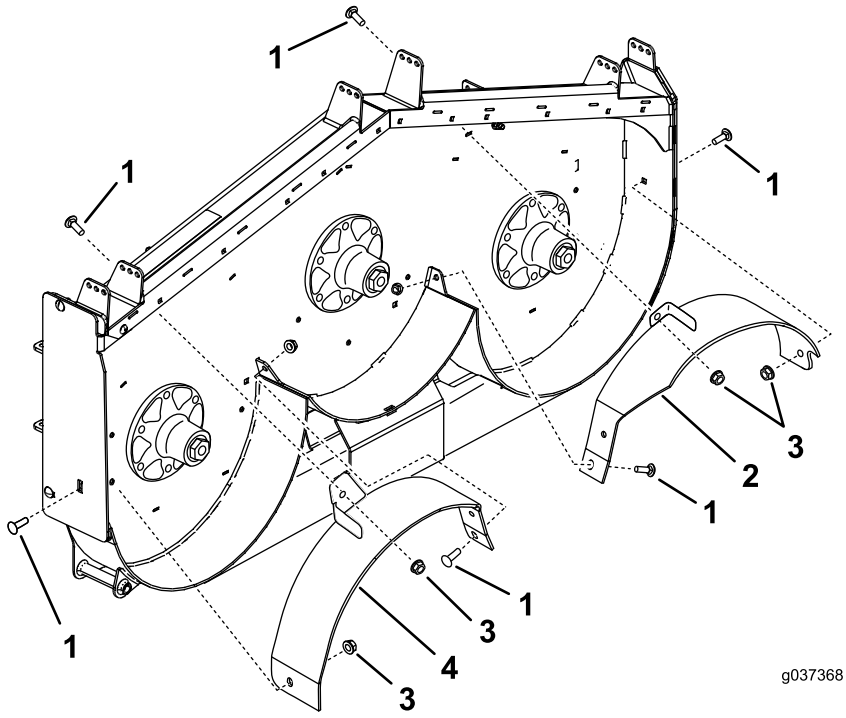
この作業に必要なパーツ

1	左バッフル
1	中央バッフル
1	右バッフル
9	フランジナット3/8 インチ
9	キャリッジボルト3/8 x 1 インチ

手順

注 デッキについている穴を使って、それぞれのバッフルをデッキに仮止めする図 9。

1. 右バッフルをデッキに合わせる。
2. 右バッフルを排出プレートに仮止めするキャリッジボルト3/8 x 1 インチ1本とフランジナット3/8 インチ1個を使用して図 9のように取り付ける。
3. 右バッフルをデッキ上部に仮止めするキャリッジボルト3/8 x 1 インチ1本とフランジナット3/8 インチ1個を使用してのように取り付ける。図 9と図 10を参照。
4. デッキに右バッフルを仮止めするキャリッジボルト3/8 x 1 インチ1本とフランジナット3/8 インチ1個を使用して図 9のように取り付ける。
5. 左バッフルをデッキに合わせる。
6. デッキ上部に左バッフルを仮止めするキャリッジボルト3/8 x 1 インチ1本とフランジナット3/8 インチ1個を使用して図 9のように取り付ける。
7. デッキに左バッフルを仮止めするキャリッジボルト3/8 x 1 インチ1本とフランジナット3/8 インチ1個を使用して図 9のように取り付ける。
8. デッキ側部に左バッフルを仮止めするキャリッジボルト3/8 x 1 インチ1本とフランジナット3/8 インチ1個を使用して図 9のように取り付ける。

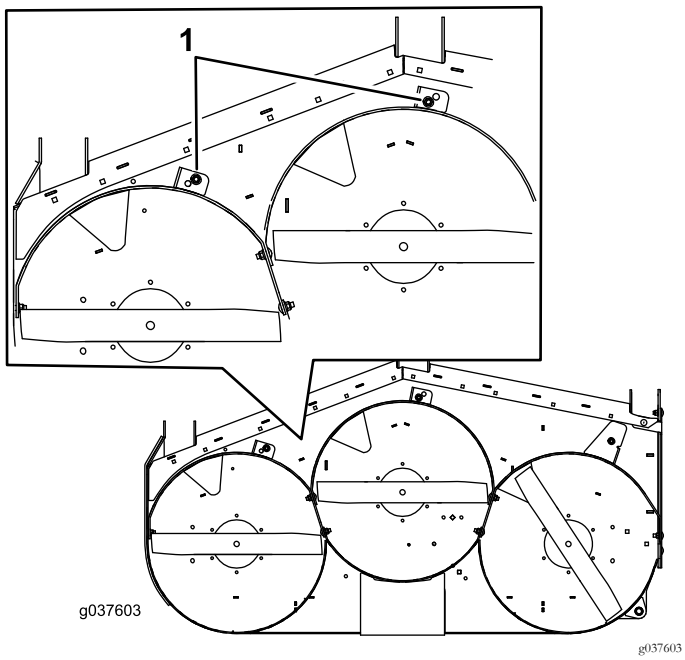


g037368

図 9

図は60インチデッキ

1. キャリッジボルト3/8 x 1 インチ
2. 左バッフル
3. フランジナット3/8 インチ
4. 右バッフル

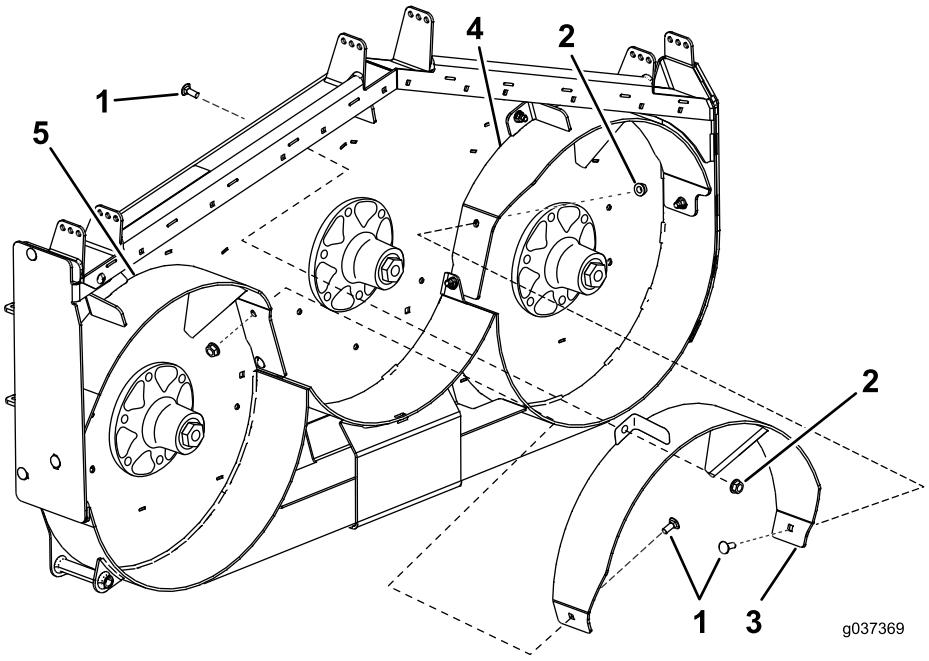


g037603

図 10

1. 60インチのデッキにはこの穴を使用

9. 中央バッフルをデッキに合わせる。
10. 中央バッフルを左バッフルに仮止めするキャリッジボルト3/8 x 1 インチ1本とフランジナット3/8 インチ1個を使用して図 11のように取り付ける。
11. 中央バッフルを右バッフルに仮止めするキャリッジボルト3/8 x 1 インチ1本とフランジナット3/8 インチ1個を使用して図 11のように取り付ける。
12. 中央バッフルをデッキ上部に仮止めするキャリッジボルト3/8 x 1 インチ1本とフランジナット3/8 インチ1個を使用して図 10と図 11のように取り付ける。



g037369

図 11

1. キャリッジボルト3/8 x 1 インチ
2. フランジナット3/8 インチ
3. 中央バッフル
4. 左バッフル
5. 右バッフル

7

新しいブレードを取り付ける

この作業に必要なパーツ

3	リサイクラブレード

手順

重要 ブレードの「セイル」部分縦になっている部分がデッキの天井側を向くように取り付ける図 12。

1. スパナ1-1/2 インチをスピンドルシャフトの六角形の端部に当ててスピンドルシャフトを押える図 12。
2. ブレード、スプリングディスク、ブレードボルトを取り付ける。

   注 スプリングディスクは、円錐部をボルトの頭に向けて取り付ける図 12。
3. 各ブレードボルトを 115150N·m11.815.2kg.m = 85110ft-lbにトルク締めする。

⚠ 警告

刈り込みブレードは非常に鋭利であり、刃先に触れると大けがをする。

ブレードを取り扱うときは丈夫な手袋をするか、刃先部分厚い布などでしっかりと覆うこと。

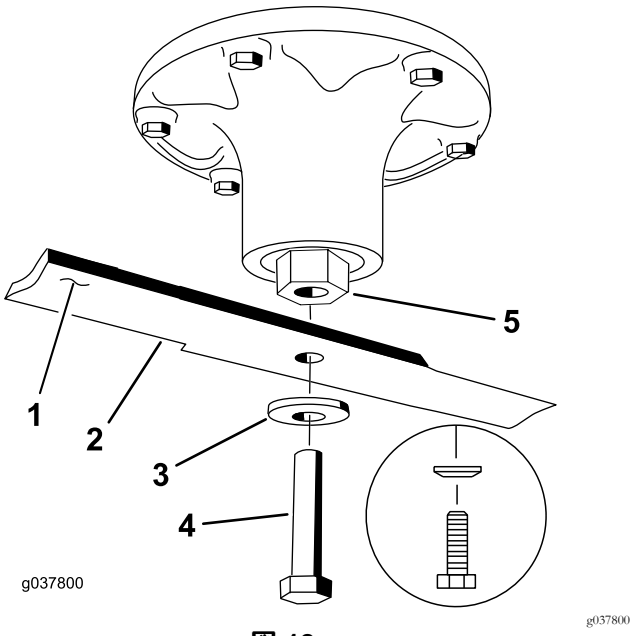


図 12

1. ブレードの立ち上がりセイル部
2. ブレード
3. 湾曲ワッシャ
4. ブレードボルト
5. スピンドルシャフト六角形の端部

8

全部の接続部を締め付ける

必要なパーツはありません。

手順

1. 全部のバッフルのボルトとナットを締めつける図 4、図 5、図 8、図 9、図 11。
2. ブレードを手で回して、バッフルとブレードとの間に隙間があることを確認する。もし干渉するようであれば、バッフルの固定をゆるめて位置を調整する。

運転操作

適切な刈高を選択する

一度に切り取る長さは25 mm以内に抑えましょう。草丈の1/3 以上は刈り取らないのが原則です。成長期の非常に密生している芝生では、刈り高設定を上げるか、側方排出モードに変更するか、または集草する必要があるかもしれません。

悪条件下での刈り込み

刈かすを細かく裁断するには十分な空気流が必要ですから、刈高を低くしすぎたり、刈り込みデッキの周囲を高い草で囲まれるような刈り込みはお奨めできません。常に刈り込みデッキの左右どちらかの側から、デッキの内部に十分な空気を吸い込めるようにしておきましょう。一番最初に敷地の真ん中に刈り込みを行う時にはデッキの左右が共に草に囲まれていますから、刈り込み速度を遅くし、デッキが詰まる場合にはバックするなどしてください。

適切な日数間隔で刈り込む

通常の環境では、45日に1回の刈り込みが必要になります。しかし、草の生長速度は色々な条件によって左右され、一定ではありません。したがって、同じ草丈を維持できるような日数間隔で刈り込みを行うのが良い指標となります春などのように芝草が非常に旺盛に成長する時期には刈り込み回数を増やし、成長速度が遅い時期には810日に1回の刈り込みでも大丈夫です。悪天候などの理由により刈り込みできない日が何日も続いてしまった場合には、側方排出モードに変更するか、集草するか、あるいは最初に高めの刈高で刈り、23 日後に当初の低い刈高で刈るようにすると良いでしょう。

鋭利なブレードで刈り込む

鋭い刃先で刈り込めば、葉身を引きちぎることなくクリーンな切り口で刈ることができます。鈍い刃先で刈り込むと切り口が汚くなります。そのような切り口は茶色に変色し、芝草の成長に悪影響を与えるだけでなく、病害の発生なども助長します。

作業後の洗浄と点検

きれいな刈りあがりを維持するために、芝刈り作業が終わったらホースと水道水でカッティングユニットの裏側を洗浄してください。刈りかすやごみがこびりつくと、刈り込みの性能が十分に発揮されなくなります。



Count on it.